グラビア　　※ここでは、各研究課題を代表する図表をカラー掲載しています。

持続可能な滋賀社会の構築

持続可能社会システムに関する政策課題研究

（本文 19 ページから 31 ページまで）

図　人と自然の豊かさ、社会の豊かさが
未来につながる滋賀

水質汚濁メカニズムの解明に関する政策課題研究

（本文 87 ページから 102ページまで）

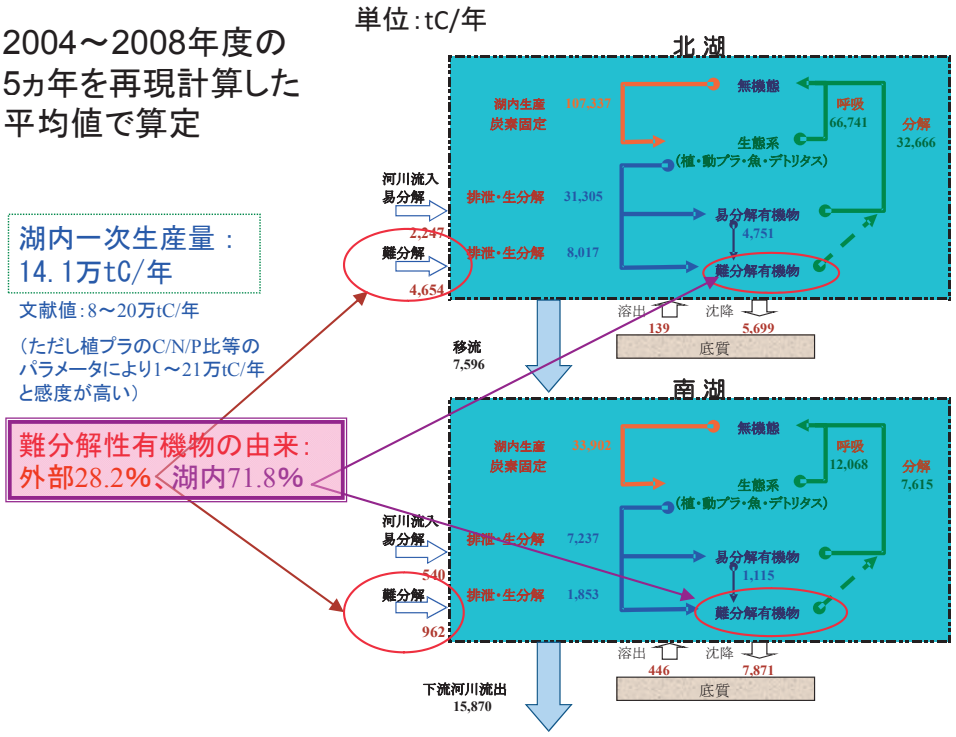


図 12　2008 年度の琵琶湖における有機物収支のシミュレーション結果

内部負荷による湖内水質変動の解析および生態系保全に向けた水質管理に関する政策課題研究

（本文 103 ページから 112 ページまで）

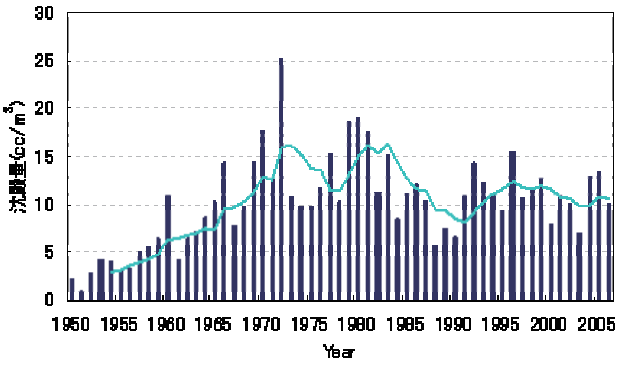


図　プランクトン沈殿量
Stn. ⅡⅢⅣ平均
（滋賀県水産試験報告より作成）

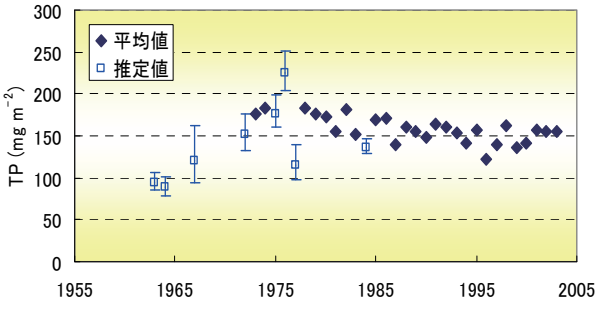


図 1960 年代から 1980 年代前半にかけて北湖の安曇川－彦根ラインから南比良沖中央における全リンの 0-20m 積算年平均値または年平均推定値

湖岸生態系の保全・修復および管理に関する政策課題研究

（本文 113ページから 149ページまで）

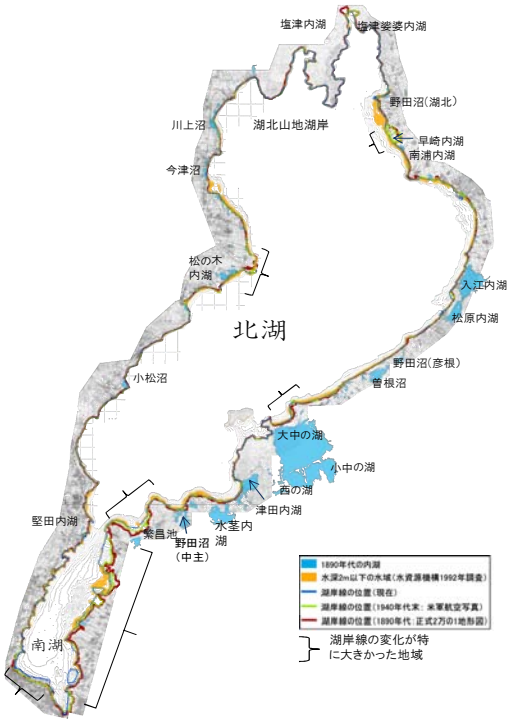


図 1.7　明治時代、1947 年および現在の琵琶湖の湖岸線および明治時代の内湖の分布

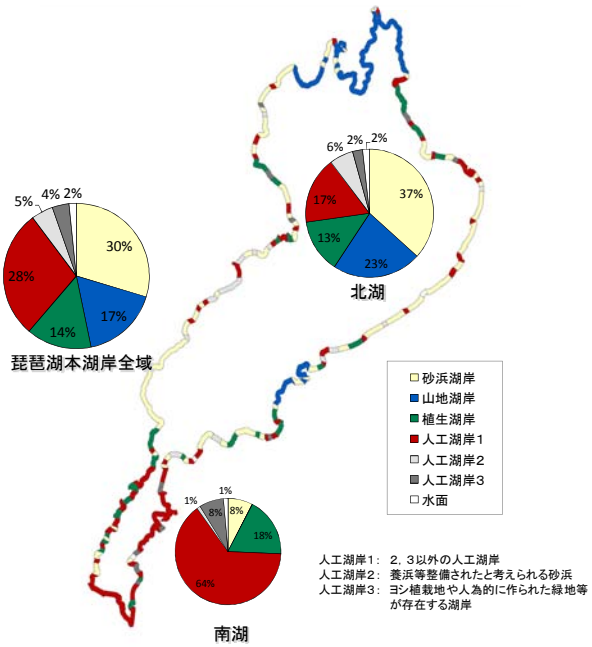


図 2.3　湖岸類型（大区分）の平面分布

琵琶湖の低酸素化の実態把握および北湖生態系に与える影響の把握に関する解析モニタリング

（本文 150 ページから 181 ページまで）

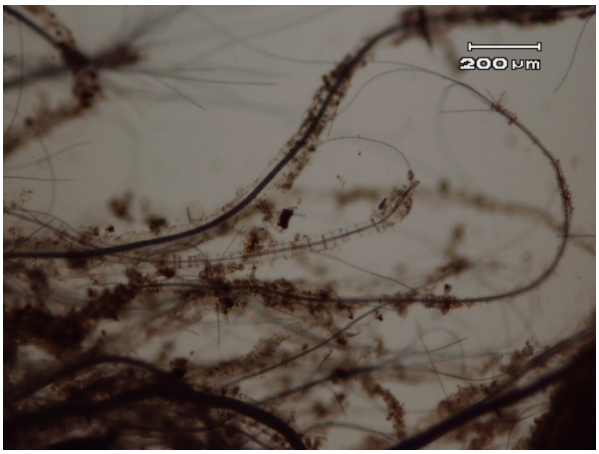
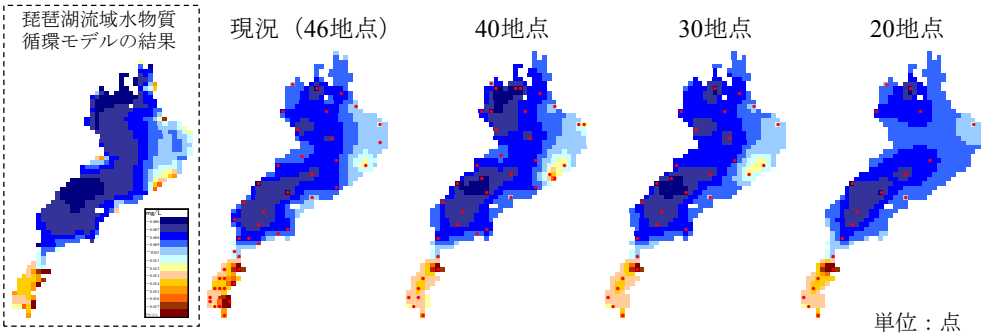


図 4.1　水深 90m 地点の底泥中に生息する *Thioploca* sp.

水環境モニタリングの最適化に関する解析モニタリング

（本文 182 ページから 195 ページまで）



単位：点

	現況（46地点）	40地点	30地点	20地点
①面的分布の再現性（重み：0.24）	91	92	91	87
②モニタリング地点の継続性（重み：0.43）	100	81	72	55
③水道用水源における観測（重み：0.07）	27	34	27	13
④沿岸帯における観測（重み：0.13）	74	100	100	100
⑤汚濁地点における観測（重み：0.13）	86	100	100	100
総合評価	87	85	81	72

図 8　モニタリング地点数ごとの最適配置と評価値

琵琶湖におけるプランクトン等の長期変遷に関する解析モニタリング

（本文 196ページから 218ページまで）

【動物プランクトン】

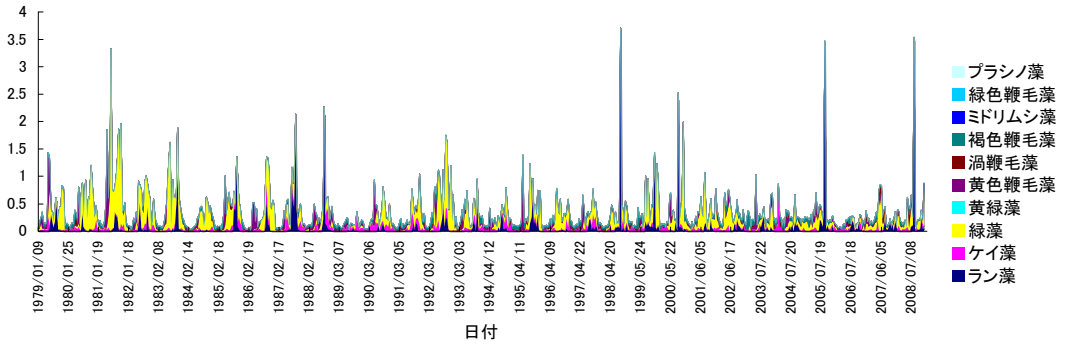


図 3　北湖今津沖中央（17B）表層 0.5m の植物プランクトンバイオマス経時変化（炭素量[mgC/L]）

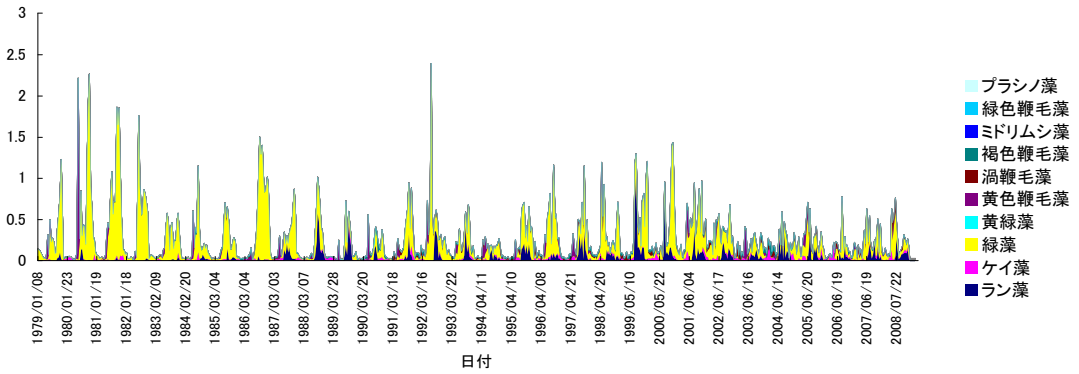


図 4　南湖唐崎沖中央（6B）表層 0.5m の植物プランクトンバイオマス経時変化（炭素量[mgC/L]）

【植物プランクトン】

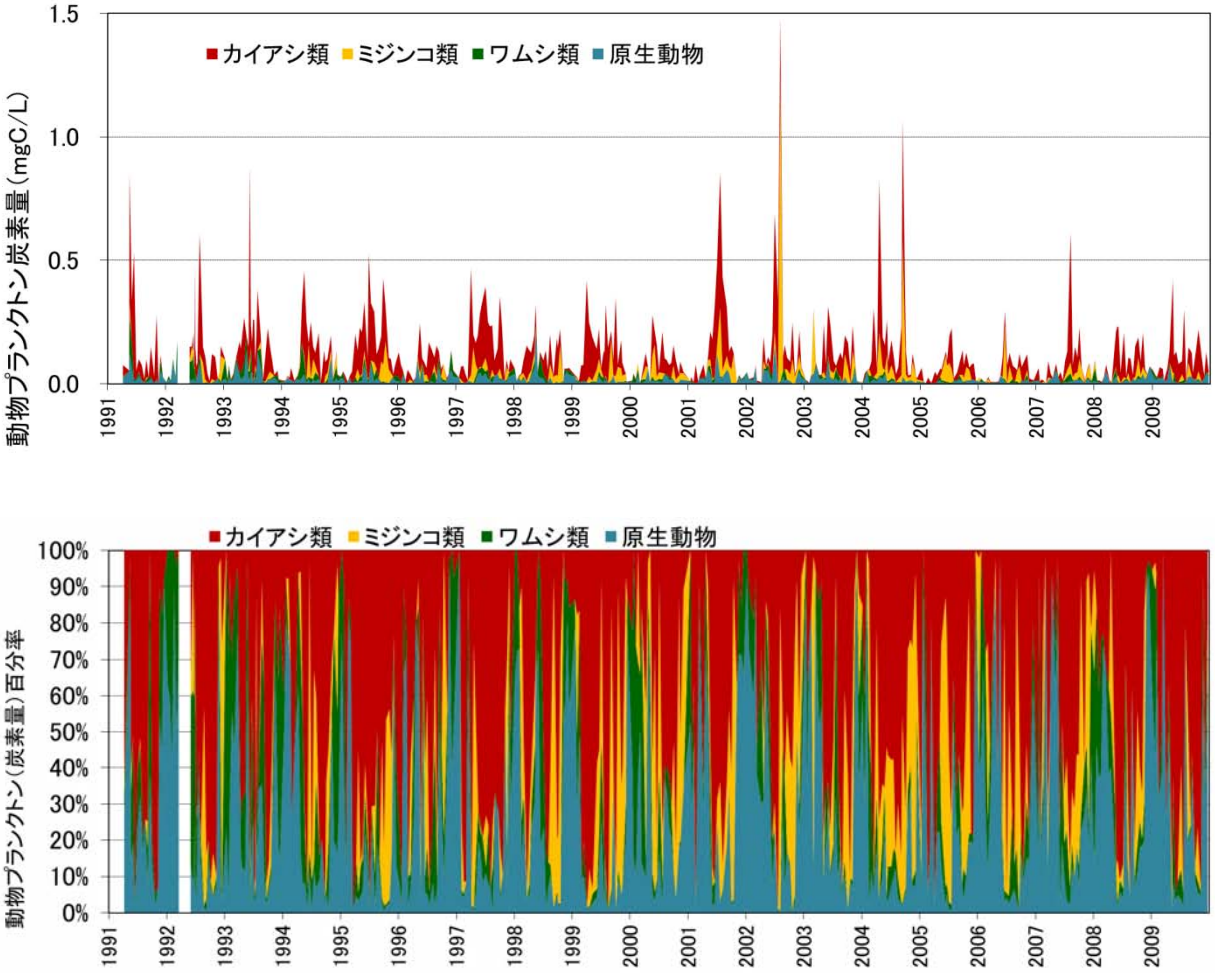


図 10　北湖今津沖中央(17B)水深 5mにおける動物プランクトン炭素量の変遷（上）および各分類群の百分率（下）

【ピコ植物プランクトン】

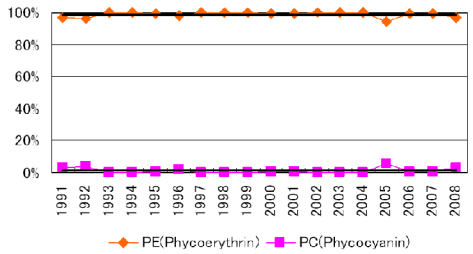


図 16　北湖今津沖中央（17B）における種類の長期変遷（年平均）

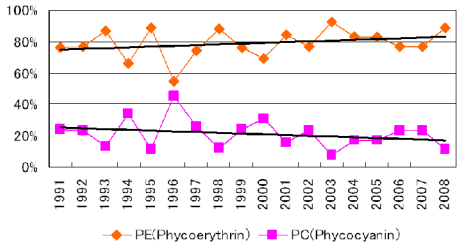


図 17　南湖唐崎沖中央(6B)における種類の長期変遷（年平均）

環境リスク低減のための実態把握

大気環境の現状評価に関する解析モニタリング

（本文 219ページから 228ページまで）

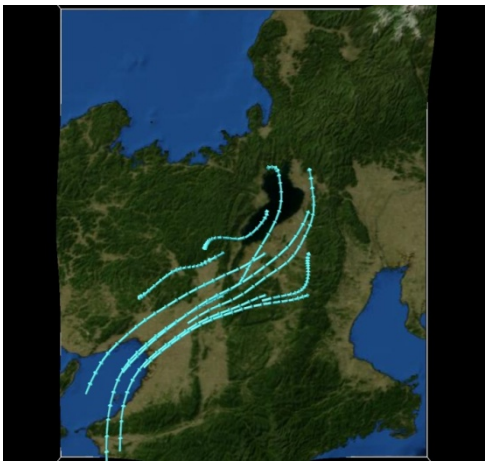


図 3.1.2　真上から見た近畿地方の鳥瞰図

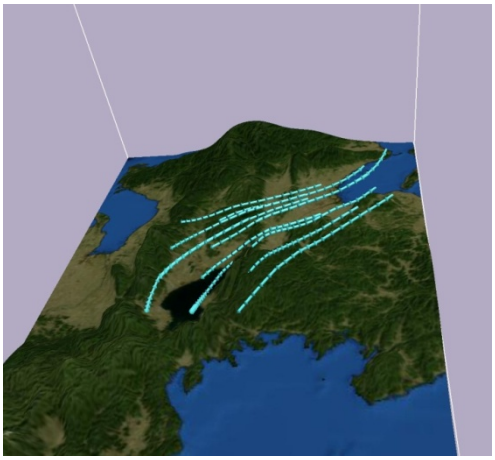


図 3.1.3　福井方面上空から見た鳥瞰図

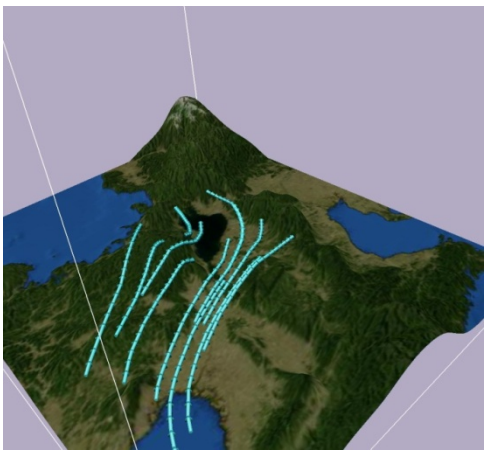


図 3.1.4　大阪湾上空から見た鳥瞰図

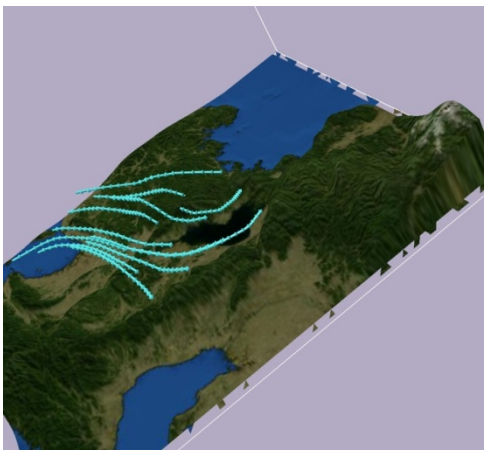


図 3.1.5　伊勢湾上空から見た鳥瞰図

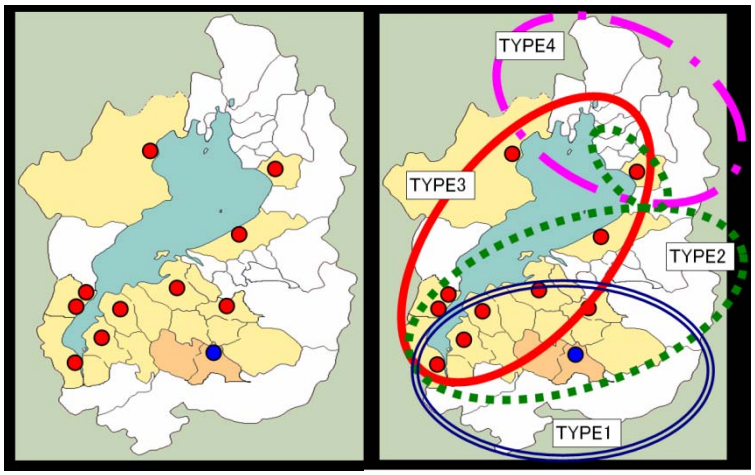


図 3.3.1　大気測定局配置図および分布パターン

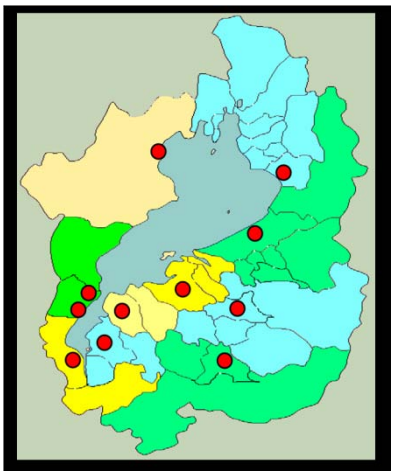
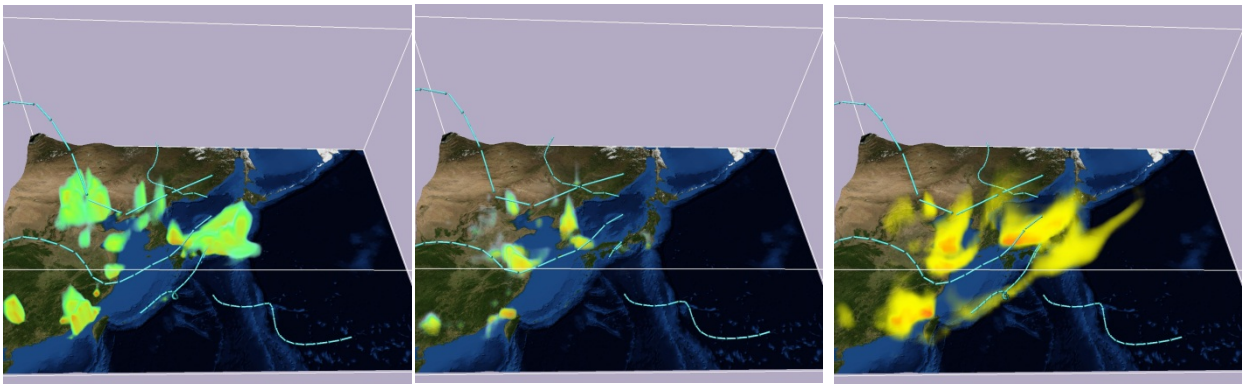
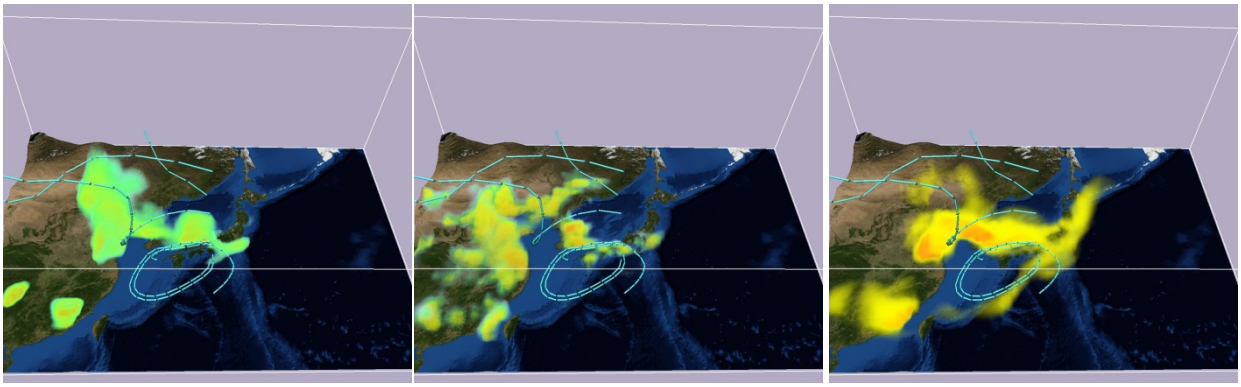


図 3.3.2　提言配置図と発令地域

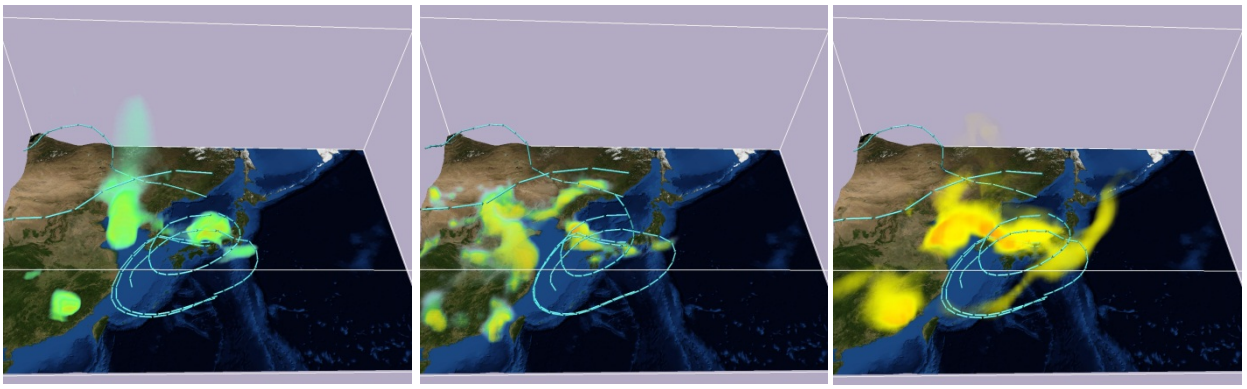
13 時



19 時



1 時



7 時

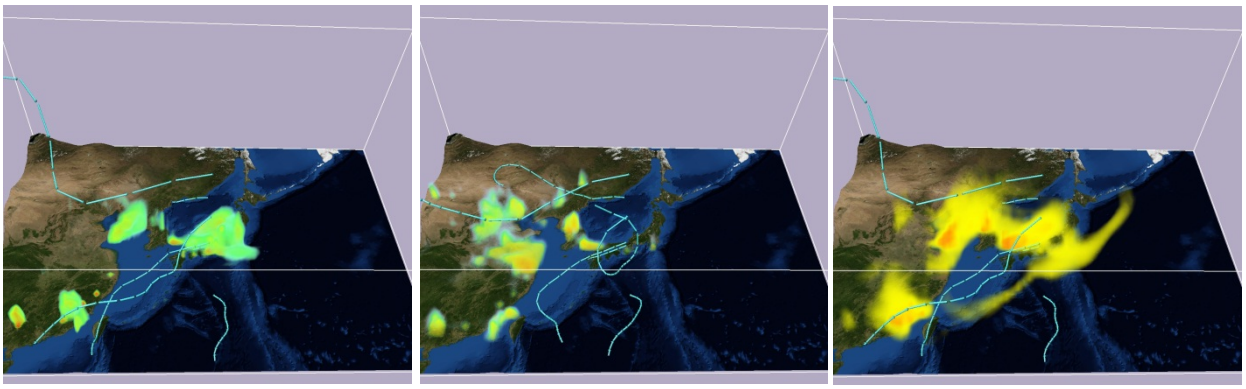


図 4.2.1　東アジア域におけるオキシダント、無機窒素化合物および有機窒素酸化物の動き
(2007 年 5 月 9 日)